

## 講演者

山木 克則氏



鹿島建設株式会社技術研究所

上席研究員（水産学博士）

同社葉山水域環境実験場にて、藻場やサンゴ礁など沿岸生態系の保全・再生技術の研究開発に従事する。これまでに、アマモの種子の発芽促進により効率よく種苗をつくる手法、アラメやカジメなど大型褐藻類の配偶体の培養により陸上で種苗をつくり、養殖や藻場造成への展開を行っている。これらの研究成果は、社会実装として藻場再生技術と同時に、

地域や学校における環境教育・啓発活動を含めた展開を図っている。神奈川県葉山町では、漁業者、ダイバー、学校など地域の多様な主体による藻場再生活動により、ブルカーボンクレジットの創出（2023年度 49.7t-CO2）を実現した。

## ファシリテーター・サステナビリティ専門員

河村 甚氏（ファシリテーター）



アメリカのグローバルリーダーシッププログラムでコーディネーターとして勤務。ファシリテーションやチームビルディングの素晴らしさを学ぶ。帰国後、日本のイベント制作会社で海外インセンティブイベントの制作の仕事に就く。

2006年に日本で初めてのチームビルディング専門会社、チームビルディングジャパンを設立。「働く人たちが自分の働く場でHappyに」をミッションに、チームビルディングを伝え広めている。

岩村 俊平氏（サステナビリティ専門員）



キャリアコンサルタント、技術士（建設・水産）、潜水士。大学では、環境と防災との両立を図る生態系工学の基礎を学ぶ。藻場・サンゴと共生する港湾等構造物の調査・計画、サンゴ移設等の現場実務を19年経験する。その後SDGsの専門家として環境・社会・経済（観光等）を両立するサステナブルツーリズムの開発、SDGsを念頭においたビジネス創出のコンサルティング等を5年ほど行い、現在に至る。ブルーカーボンの研究をはじめ、水産協調型構造物の調査・計画、海業、6次産業等に関わる事業を展開している。沖縄県SDGs専門部会委員、沖縄MICEネットワークサステナビリティ部会長、沖縄工業高等専門学校の非常勤講師などを務める。